

1. 羽咋市及び全国の現状認識

- (1)人口減少の現状 ①平成27年の国勢調査（確定値）における本市の人口は、21,729人。前回調査（平成22年）に比べ1,303人減少
②過去10年間の人口推移では、自然動態は減少数が拡大傾向（出生数の減少、死亡数の増加）
社会動態は一時の抑制効果から一転し、全国的な傾向と同様、転出超過が進んでおり、今後厳しい状況が予測される。
- (2)転出入の状況 転出入の要因は、就職、婚姻、転勤の順が多い
- (3)地域経済の現状 ①企業誘致、起業家支援等により雇用・求人数は増加傾向であるが人手不足（求職とのアンマッチング）
②道の駅開業や地域商社機能の推進により、6次産業化、**地産外商、交流人口は拡大傾向。**
③引き続き、地域の消費喚起や地域内消費の喚起、地域経済の好循環などを**主体的・機動的に行う運営体制が必要**

2. 羽咋創生の基本的な考え方

- (1)本市の特性・特徴（強み）を最大限に活かす
- (2)本市における人口減少と地域経済の縮小の克服
- (3)本市におけるまち・ひと・しごとの好循環を確立する

3. PDCAサイクルによる施策の検証と向上

- (1)市まち・ひと・しごと創生総合戦略会議による効果検証、評価
- (2)議会の意見
- (3)国総合戦略との整合

4. 「がんばる羽咋創生総合戦略」の骨子

- (1)人口推移の現状分析及び総合戦略の進捗状況を踏まえ、効果性の高い施策への「選択と集中」と計画全体の最適化
- (2)国政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）を踏まえた総合戦略の充実・強化
- (3)成果（アウトカム）を重視した目標設定とデータ等に基づく政策立案の推進
- (4)将来を見据えた地域経済や地域社会の現状分析、**第1期総合戦略のまとめ、第2期への準備と新たな試みへの基盤づくり**

5. 今後の施策の方向（総合戦略の総仕上げ（自立・自走）と次のステージに向けた政策方針）

- (1)若い世代への総合的支援の充実と少子化対策の推進
- (2)地域の総合力を挙げた地域経済循環システムの推進
- (3)地域の強みを活かした地域未来牽引企業との連携と支援
- (4)「自走できる組織」「稼ぐ仕組み」「地域の価値向上」の取組への支援
- (5)持続可能なまちづくりを担う多様な人材の育成と確保、還流の促進
- (6)成果（アウトカム）を重視した目標設定と客観的データ等に基づく施策の立案
- (7)人口減少を踏まえた既存ストックのマネジメント強化
- (8)未来への投資を実現するための財政運営と行財政改革の推進
- (9)近未来技術の活用による地域活性化と地域課題解決の推進
- (10) Society5.0、SDGsに基づく多様化社会への順応と持続可能な発展

次期総合戦略を踏まえた追加

施策は変更せず、取組内容を再構築

6. 羽咋創生の「総仕上げ」と次のステージに向けた施策（政策パッケージ）

基本目標1 羽咋における安定した雇用と魅力あるしごとを創出する

- (1)地域資源を活用した農業の振興と6次産業化
①『自然栽培』を中心とした農業の成長産業化
②有害鳥獣（イノシシ等）を活用した商品の開発・流通促進
③新規就農者に対する総合的な支援
- (2)観光交流拠点を核とした雇用の創出
①『道の駅のと千里浜』を核とした観光交流拠点施設の整備推進と地場産品市場の拡大
②羽咋駅周辺整備による「まちなか」の賑わい創出
- (3)企業立地や誘致、基幹産業・起業家支援による地域活力の創造
①継続した企業立地・誘致の推進
②基幹産業の育成と支援
③起業・創業支援の強化
④多様な就労支援
- (4)地域経済の好循環に向けた総合的取組の推進
①『地域商社』機能の推進による地域ビジネスの創造と成長
②地域中核企業、大学等との連携による新産業・新事業の創出

基本目標2 羽咋への新しいひとの流れをつくる

- (1)地方移住の推進
①移住総合相談窓口による地方移住支援
- (2)羽咋らしい観光地域づくり
①観光、歴史文化、スポーツ等の活性化等を通じた交流人口の拡大
②周遊滞在型観光の推進
③魅力あふれる観光情報の発信

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- (1)出会いから結婚までの総合的な支援の充実
①結婚を希望する若者への支援
- (2)子ども・子育て支援の継続・充実
①妊娠・出産・子育ての経済的負担の軽減
②出産・子育てしやすい環境の整備
③子育てと仕事の両立支援、女性の活躍の場の創出
- (3)『3あい～学びあい・鍛えあい・育ちあい～』の推進による学力・教育力の向上と充実
①学びやすい学校施設と設備の維持
②次代に対応するための学習能力の向上
③きめ細やかな教育・学習機会の充実

基本目標4 時代に合った持続可能な地域をつくり、地域と地域が連携する

- (1)住まいの整備・再生、安価な宅地供給の促進
①住環境の整備推進
②空き家・空き地等の利活用と既存住宅の性能維持の支援
- (2)既存施設の効果的な維持管理の促進
①公共施設の長寿命化と計画的整備
- (3)地域で安全・安心に暮らせるまちづくりの推進
①地域における減災・防災体制の充実
②地域包括ケアシステムの構築と推進
③健康寿命の延伸による「生涯活躍のまち」の構築
- (4)生活利便性の向上と生活環境の保全
①都市機能の集積と市街地の賑わい創出
②「地域における足」となる循環型交通の確保
③再生可能エネルギー・省エネルギーの利活用と環境保全の推進
- (5)コミュニティ活性化と地域の未来を担う人材の育成
①地域活力の維持と協働のまちづくりの推進
②「羽咋」の未来を担う人材の育成と支援の充実
- (6)「ふるさと」支援と交流の促進
①「ふるさと応援団」等による都市との交流と共創
- (7)地域連携、広域連携の推進による経済・生活圏の形成
①近隣自治体、能登地域、広域地域等との連携・強化

人口減少の抑制

市民が創る持続可能な地域

地域経済の活性化

まち・ひと・しごとの好循環

